

第11回黒島小中学校検討委員会議事録

1 日 時 平成29年11月1日（水）19:00～20:30

2 場 所 黒島小・中学校 校長室

3 参加者 牧野・大村・鶴崎・山内・惣田・高田・木下・山崎・戸田
計9名（欠席：濱田・松崎・古里・田代） ※敬称略

4 協議事項

(1) 新校名の考案者・投票者の授賞式について

○先日、校名を考案した方と投票した方から抽選で選ばれた2名について、10月6日に学校に来てもらって、校長室で、大村靖会長から感謝状と記念品を渡した。

(2) 新校章について

○第1候補は、11票、第2候補は1ということで、第1候補に決定した。

○委員の皆様からの要望としては、黒島の文字を丸くしてほしい、波の色を濃くしてほしい、黒島の文字を大きくなるようにしてほしい。

○デザイナー提案のフォントと、丸文字のフォントと比べて見たが、丸文字のほうは遠くから見て目立たないため、デザイナーとも協議した結果、原案で決定した。

○鳥の波の切れ方が4・3・2で切れている。これまでは6・3制だったが、多くの義務教育学校や小中一貫教育を取り入れている小中学校が4・3・2制になっており、本校も4・3・2制をとりたいたいということで4・3・2で波が切れている。

○最終データを三つ確認（白バックのカラー・黒バックのカラー・モノクロ）

○この最終データを元に、校旗や体育館に飾られるモニュメントが作成される。このデザイナーのデザイン料については、佐世保市教育委員会が支出し、学校や育友会が支出するものではないということで確認ができています。

○実は、ハマユウの花、レジメにあるように花びらは6枚と決まっている。しかし黒島の地区数は8つ。デザインは8になっている。原案通りの8でいくか、花びらの6に合わせるか。どうしたらいいだろうか。

○「ハマユウは黒島の象徴です。このハマユウは8つに分かれていて、黒島の地区数を表しています。」というのがデザイン原案の説明。

○一般的にハマユウの花びらの枚数が6枚ということは知られていない。

○今8つだから、とても安定している。6だと安定しない。

○本来なら6であるが、黒島風にアレンジして地区の数である8を優先したという説明でよいのではないか。

○校章のデザインが閉じられていないため、立体としてのモニュメントを作成するときには不具合が出てくる。そのため、市教委が出してきた案がレジメのとおり。背景は体育館の壁。左の分が市教委提案。右の分がそれを受けて少しアレンジしたもの。ご

意見を伺いたい。

- 西日が当たって色があせるのではないかと心配だ。→最近はおそらく大丈夫だと思う。
- 今回立体物として作るので今回のような協議が必要であって、校旗などは原案通り。
- 波の外側を白で縁取りしているのがとてもよい。
- レジメ資料の右のような切り方をすると、左の波しぶきやハマユウの花を入れるために左の円が少し膨らんでいる。右の円は正円。ということで黒島の文字が中心から少しだけずれている。
- デザイナーの方をお願いをして、波しぶきやハマユウの花を小さくしたり中央に寄せたりすることで、左側の円を右側の円にそろえ、全体的に正円となって、黒島の文字が中心になるようにしたい。
- デザイナーの方にその旨をお願いしてみるが、既に決まったデザインなので、それを修正をしていただけるものなのか、相談をする。
- 校章の考案者をここで紹介する。中学3年生の松崎明日香さんだった。
- これまで公正公平を期すため、名前を伏せて協議をしてきたが、決定したので、この委員会でのみ、名前をオープンにしたい。児童生徒や保護者には知らせない。
- 感謝状の授賞式の期日については、11月11日(土)の親子ふれあい球技大会の閉会式の後にしてはどうか。→児童生徒も保護者もいるのでこの日がよい。
- 記念品として渡す図書カードは、学校と育友会が半分ずつ支出する。

(3) 予算執行について

- 住民に周知する看板や幟は、特色ある学校づくりの予算で執行する。看板と幟は、現在の黒島小中学校校舎があるところに。内容は、正式名・愛称名・長崎県初の義務教育学校であるということなどを掲載。
- 住民に周知するA4で両面カラー300枚程度のチラシは、佐世保市教委が支出できるように検討中とのこと。内容は、正式名・愛称名・長崎県初の義務教育学校、なぜ愛称名が必要だったか、ハマユウのいわれなども。義務教育学校とはどのような学校かを示す。新しい校章の周知とデザインの意味を
- 校旗の2種類(入場行進用と掲揚台に掲揚用)は市教委で支出。
- 門柱に新校名や愛称名を刻み込む費用は市教委で支出。
- 卒業式や入学式のステージ看板や新校名入りスリッパは学校配当予算で支出。
- 市内の学校に知らせたり、視察者(教職員向け)に渡したりするリーフレットA3両面カラーは特色ある学校づくり予算で対応予定。
- メモリアルコーナーに掲示する歴代校長写真のパネルは市教委で支出。
- 落成式における、黒島港と学校間の来賓者の移動であるマイクロバスの往復代金は佐世保市教委が支出
- 来年度、校舎落成式を予定(来年度10月の日曜日)しているが、その際に参観者へ配付するリーフレットA3で2枚を二つ折り冊子形式(8ページ)について。内容は現在の校舎の写真や旧中学校の思い出の写真や、黒島小中学校の活動などを掲載する予定。閉校ではないので、閉校記念誌のようなものは作らない。

- 来年度の特色ある学校づくりの予算では、新校舎の方に看板と幟を設置する予定。
- 落成式に参加される方への記念品について。中学校の特別会計がある。缶バッジで旧小学校の校章・旧中学校の校章・新義務教育学校の校章を三つセットにする。おそらく1セット1,000円かからない。多分500円程度。
- ガラスのペーパーウェイト（1個1,000円）というのもある。新校章をレーザーで刻印する。本来なら黒島御影石がいいのだが、御影石は高い。
- 作成する数は150～200を予定している。
- 二つとも作るのか→あくまで二つは案。おそらくどちらか。
- 使うかどうかは別として、長く持つのはペーパーウェイト。
- 先日、教会の有田焼置物（プレート）もあるが、どうだろうか。→それでもよい。
- 市教委も予算化できるよう検討中とのこと。（市教委の予算か学校配当予算）
- ペーパーウェイトは市教委から、缶バッジは育友会特別会計からという方法もある。
- 育友会特別会計は今回使わなければ、今後使う機会が無い。そのための特別会計なので、ぜひ特別会計から支出したい。

(4) そのほか

- あり方検討委員会便り12号はこれまでのまとめ。13号は議事録。
- このような話合いをしたということを知らせることは大切。
- 議事録は個人名が特定されないよう配慮している。
- 学校の新校舎は予定通りか。遅れているという連絡は聞いていないので、予定通り12月中には大丈夫だろう。来年度の入学式には間に合う。
- 本年度の卒業式は新体育館で行うか、思い入れのある今の体育館で行いたいという思いか、卒業生やその保護者の意向を大切にしたいが、3月末に使えるかどうか微妙という市教委の回答。
- 卒業式の場所が変われば、挨拶も変わる。3月14日（水）が卒業式。
- 来年度のジャージや体操服はどうなるのか。→今使っているのをそのまま使用する。買い換える時に新しい体操服やジャージを購入してもらおうという考え。保護者の負担を考えて、絶対に買い換えさせるものではない。
- いまどきの体操服は生地が速乾性に優れたものが増えてきている。
- 体操服は小中学校共通。旨に校章が入る。
- ジャージは中学生からだが、小学生から購入することを拒む理由は無い。
- 五島の奈留小中学校についての情報提供。五島市教委の学校教育課に事務局がある。児童生徒の募集をしている。島留学の助成金もある。
- TAKAHIROに校名を書いてもらうこと・サンディトリップに歌を作ってもらうことを依頼しているが動いていない。保護者・地域からも動いていただかないと難しい。
- 黒木小学校は研究発表のため、12月以降に連絡をして訪問日程の調整をする。

6 閉会挨拶

- 校章もしっかりと決まった。今後とも協力をお願いしたい。

以 上